

「2001年1月1日から2012年8月31日までに川崎医科大学附属病院で食道胃接合部癌と診断され治療を受けられた患者さんへのお知らせ」

「食道胃接合部癌の至適リンパ節郭清範囲を検討するための全国調査（多施設共同研究）」に関する研究について

当教室では、2001年1月1日より2012年8月31日までに、川崎医科大学附属病院で食道胃接合部癌と診断され治療を受けられた患者さんについて、診断時の検査成績と手術標本の結果がその後の治療経過にどう影響するかをさかのぼって検討することを倫理委員会により承認を得ました。

本研究の目的は、食道癌の予後に影響を与える因子を検討し、今後の臨床現場に役立てることです。この研究結果は、学会演題や学術論文として発表される予定です。本研究は手術標本を再評価し、カルテからのデータのみを収集する観察研究であり、患者さんの個人情報をも抹消した状態で解析します。従って、患者さんの個人情報が外部に漏れる心配は全くありません。本研究におけるすべての研究者において、研究は個人研究費で行いますので利益相反はありません。疑問のある方は、遠慮なく下記の問い合わせ先にご相談下さい。

本研究のお問い合わせ先

川崎医科大学附属病院

消化器外科

担当者:松本 英男

e-mail:h-matsu@med.kawasaki-m.ac.jp

TEL:086-462-1111(内線 44499)FAX:086-462-1199